

# 組織変革とリーダーシップコース

人・組織・戦略の視点で、組織変革を推進できる次世代リーダーの養成



## 開催期間

2019年 6月上旬～2020年 2月下旬

全32回

(講義18コマ、グループ研究28コマ、合宿3回、フィールドワーク1回、フォローアップ研修1回含む)

## 日 程

毎月2～3回 水曜日 18:20～20:50

## 対 象

部・課・プロジェクトチーム等の組織運営を行うリーダー  
定員25名

## 会 場

東京・丸の内(新丸の内センタービル6階)  
東京駅丸の内北口より徒歩3分、地下鉄大手町駅至近



公益財団法人 日本生産性本部

<https://k-academy.jp/>

## 経営アカデミー～50年以上の歴史、14,000名以上のOB・OGネットワーク～

### ■企業から選抜された中核人材が集う 真剣な他流試合の場

経営アカデミーは、1965年に創設された我が国初の本格的なビジネススクールです。

- ・業界を代表する企業をはじめ、多様な業種・業態の組織から選ばれた人材が参加します。短期の研修では得ることが難しい、業務上の悩みや課題を共有し合える貴重な社外のネットワークを築くことができます。
- ・バックグラウンドの異なる多様な人材とのぶつかり合いから、自己の発想、価値観や仕事を通じて培ってきたビジネス観を振り返る絶好の機会となります。今までの延長線上にある自己を一度断ち切り、既存事業を変革し未来に挑戦する意欲を喚起し、実行力を伸ばします。

## 指導講師陣

### ■コース委員長



芳賀 義雄  
日本製紙  
代表取締役会長

### ■コーディネーター



内野 崇  
学習院大学 教授



佐々木 圭吾  
東京理科大学大学院  
教授



浅井 浩一  
日本マネジメント  
ケアリスト協会  
理事長



杉岡 直人  
城西大学 教授

### ■グループ指導講師



竹内 倫和  
学習院大学 教授



若林 隆久  
高崎経済大学 准教授



加藤 木綿美  
二松學舎大学 専任講師



岩尾 俊兵  
明治学院大学 専任講師

## 講師陣

(過去2年実績)

石川 歩 日本生産性本部 風土改革コンサルタント

稲山 健司 明治学院大学 准教授

木川 眞 ヤマトホールディングス 代表取締役会長

倉重 英樹 シグマクシス 代表取締役会長

斉藤 徹 ループス・コミュニケーションズ 代表取締役

坂根 正弘 小松製作所 相談役

酒巻 久 キヤノン電子 代表取締役社長

高木 晴夫 法政大学大学院 教授

竹内 規彦 早稲田大学ビジネススクール 教授

富山 和彦 経営共創基盤 代表取締役 CEO

馬醫 光明 テクノヒロセ 代表取締役社長

古川 久敬 九州大学 名誉教授

宮城まり子 キャリア心理学研究所 代表

山口 学 関電工 特別顧問

## 当コースの考え方

一人ひとりが生き生きと働く。

そこから生まれるエネルギーを組織の進化・変革につなげていく。



社員が元気に働き、結果として全社的に事業が活性化され、企業目標を達成できる組織へ

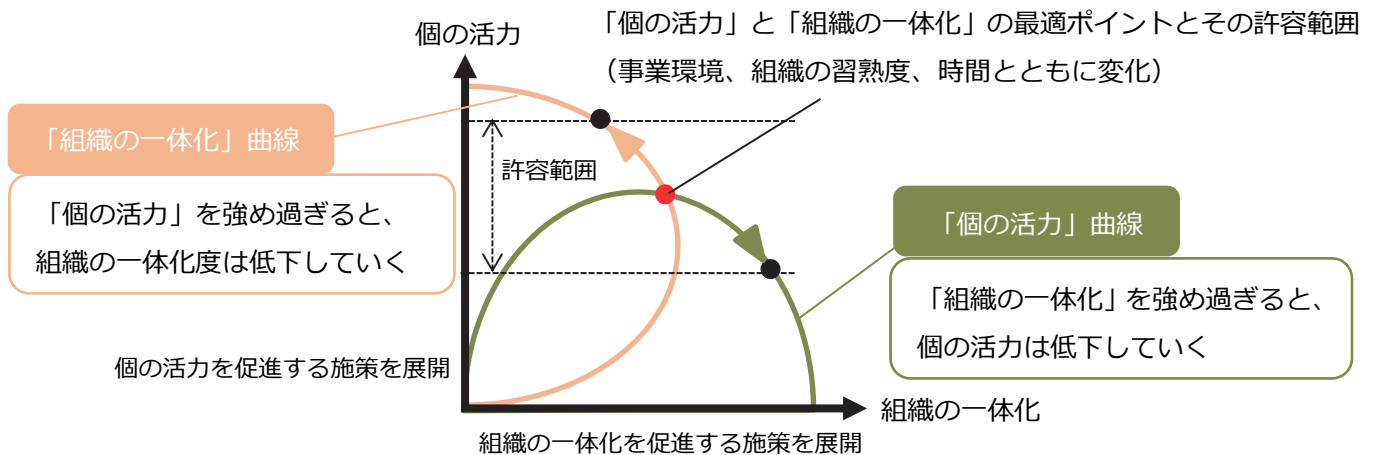
### ■今、職場で何が起きているのか？

－ 多くの企業で進行している、「個の活力」と「組織の一体化」の低下

「個の活力」の低下要因例	「組織の一体化」の低下要因例
<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事の目的が分からない、やりがいが見出せない</li> <li>・人員が不足していて、余裕がない</li> <li>・人間関係、コミュニケーションが希薄化している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社のビジョンが浸透していない</li> <li>・人材育成に手が回らない</li> <li>・個人の成果が重視され、協働意識が薄くなっている</li> </ul>

昨今、労働人口の減少や価値観の多様化に伴って、個人の自律が求められるようになり、多くの企業では「個の活力」を引き出すための様々な施策を導入・検討を進めています。しかし、過度に「個の活力」が強まると、組織の一体化度は低下していきます。一方で、人事制度などで「組織の一体化」を強め過ぎると、個の活力が失われていきます。

当コースでは、「個の活力」と「組織の一体化」を両立させ、組織のパフォーマンスを最大に発揮できる人材の養成を目指します。



(参考：2009年度 当コースグループ研究「個の活力と職場の一体化の同時的達成をめざして」)

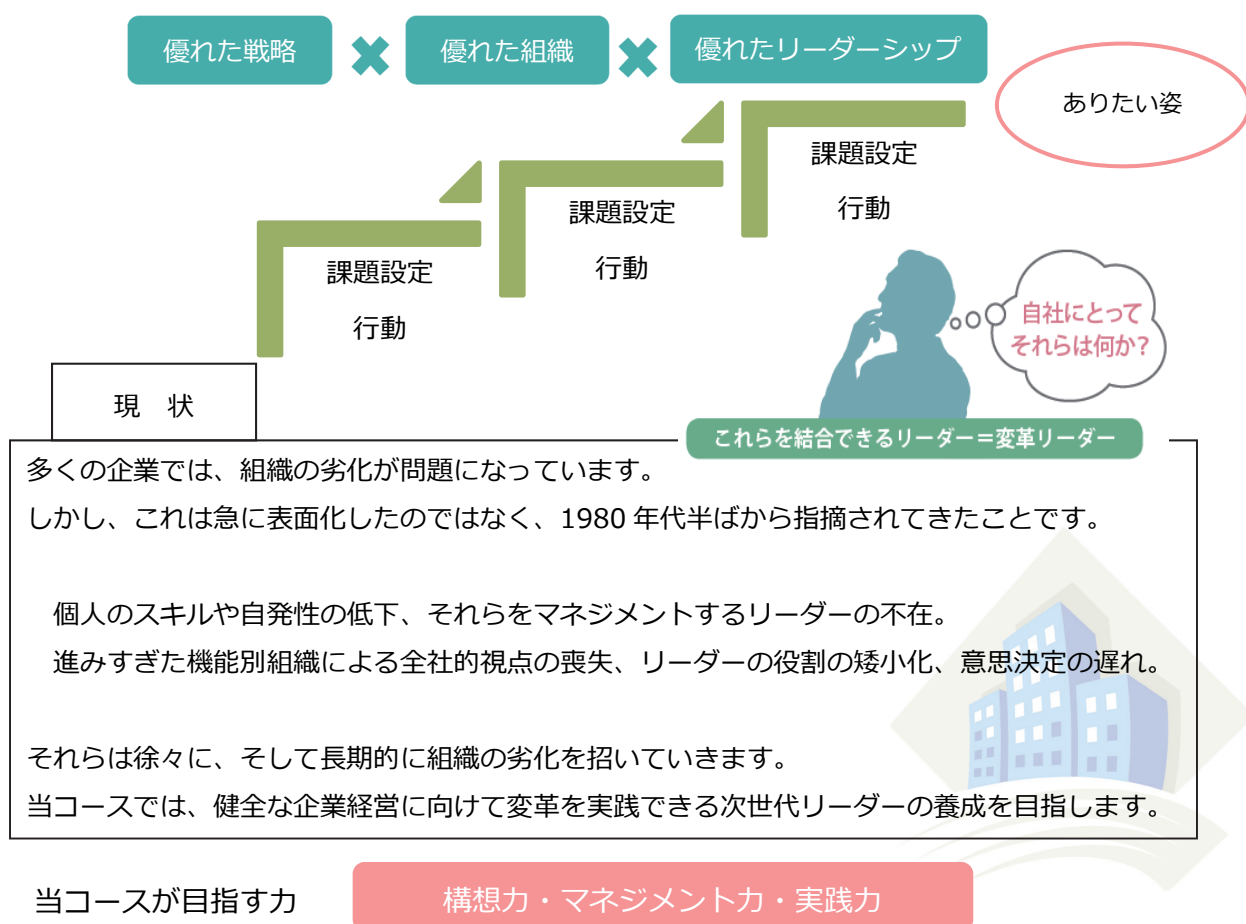
自律と求心

当コースでは、「個の活力」(自律)と「組織の一体化」(求心)を両立させ、企業目標を実現することが、企業変革の要諦と考えています。

## 目指す人材像

当コースでは、「企業の成長」という経営戦略のそもそもの目的を踏まえ、その戦略を実行する組織、そして組織を構成する従業員についてそれぞれ考え、総合的に変革を構想できるリーダーの養成を目的としています。

### 人・組織・戦略の視点で、組織変革を推進できる次世代リーダーの養成



## 当コースの構成

講義とグループ研究を並行して進めることで、体系的な学習と実務の往復を促し、自己課題フィードバックにより実践へと橋渡ししていきます。

### 講義・演習

産業界の課題に精通した講師陣による最新の理論と実践を学ぶことができます。参加者同士の活発な議論により本質に迫ります。

### グループ研究

各人の問題意識に合わせてグループを編成し、9ヶ月に亘って、組織変革とリーダーシップを追求します。専属の気鋭の研究者が本質的な議論をバックアップします。

### 自己課題

講義ごとに学んだこと、自社の経営や業務にどう具体的に活用するかレポートを作成。研修前、中間・終了時点で自己の振り返りを行い、研修効果を確実にいたします。

# グループ研究

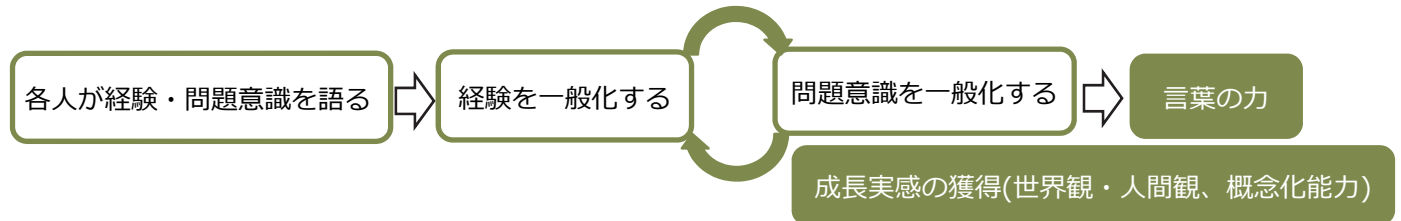
## I. ねらい（グループ研究による成果）

### リーダーに求められる「言葉の力」の涵養

組織を牽引するリーダーには、組織メンバーが自立的に動くための「言葉の力」が求められます。

当コースに参加される方々は、それぞれの経験を積み重ねています。

グループ研究では、学んだ理論を背景に、異業種の人材との議論を通して、自身の経験を客観視し、一般化していきます。一般化するという事は、自分の経験を概念化して言葉にすることであり、語る事ができるということです。グループ研究では、実践で生きる「言葉の力」を涵養します。



\*各グループに、専任の指導講師が付き、研究の深化を支援します

## II. 2017 年度テーマ

### ■ 「労削自己問題化チェーンマネジメント」

労働時間を短縮する取り組みの現状を整理し、より良い組織へと変わっていく上で、「腹落ちメッセージ」、「有益無損失」、「自己問題化」という概念が有効だとした。

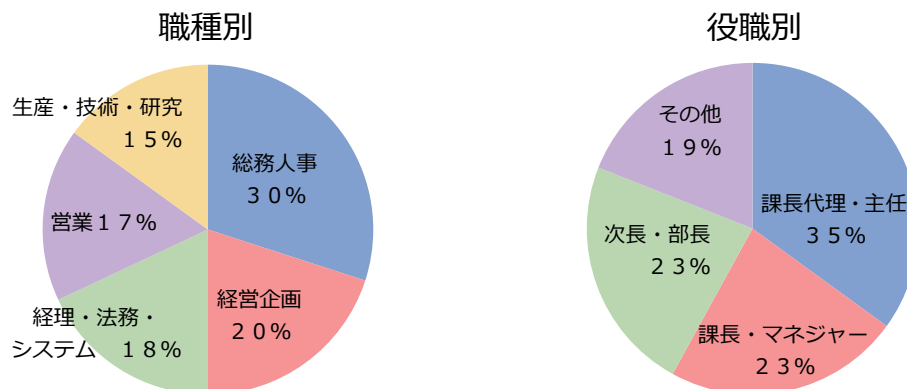
ほかの研究テーマ

「主体的選択アプローチによる変革のススメ～モノマネ経営を超えて」

「チームを活性化させるリーダーのコミュニケーション論」

# 当コース 参加者データ

## ■ 2018年度実績（全26名、平均：41歳）




## ■ 過去5年ご参加企業

岩谷産業、ANA成田エアポートサービス、NTT都市開発ビルサービス、カスタマシステム、キョーリン製薬ホールディングス、埼玉りそな銀行、ジューエルサイエンス、ジャノメクレディア、商工組合中央金庫、JECC、JXTGエネルギー、住友大阪セメント、生化学工業、太平洋セメント、テルモ、東亜建設工業、東京ガス都市開発、東京地下鉄、東レ、戸田建設、日本工営、日本政策金融公庫、日本製紙、日本信号、日本水産、日本電気、日本通運、日本レコード・キーピング・ネットワーク、農林中央金庫、富士ソフト、ブリヂストン、富国生命相互会社、三菱地所、山万、湯山製作所

# 2019年度 プログラム (予定)

全 32 回 講義 : 18 コマ、グループ研究 : 28 コマ \* 合宿 3 回、フィールドワーク、修了後のフォローアップ研修 1 回

月	テーマ	講義・演習	グループ研究	自己課題		
6月	環境変化の本質を捉える	<b>■世界観・時代認識をもつ</b> - 社会観・人間観を醸成する - 企業を取り巻く経営環境の変化を理解する - 日本企業の変革の方向性を考える		自己課題整理、コース修了後の目標設定		
	組織変革に関わる理論の体系的な理解をもとに構想力を養う	<b>■経営戦略論</b> - 戦略思考 (全社戦略、競争戦略) を理解する  <b>第1回合宿 (2泊3日)</b>	<b>グループ研究【1-2】</b> <b>【グループ編成】</b>			
<b>■組織とヒトの基本理論</b> - いかにして組織目的を達成するか - 人間性、社会性の追求 <b>■働き方改革と組織変革</b> - 働き方改革の事例から、変革モデルを学ぶ - これからの働き方、キャリアを考える <b>■フィールドワーク</b> - 組織変革の現場を歩く		<b>【問題意識の共有】グループ研究【3-4】</b> テーマ選定・決定			各講義の気づきと学びを整理	
7月	職場風土を変えるマネジメントと変革を実現するリーダーシップを学ぶ	<b>■リーダーシップの理論的変遷 (特性アプローチ～シェアード・リーダーシップ)</b> - リーダーシップ理論を整理し、自らのリーダーシップスタイルを考える <b>■モチベーション理論</b> - 組織の習熟度に合わせて個人とチーム力の向上を考える <b>■変革リーダー (トップリーダー/ミドルマネジャー) の経験に学ぶ</b> - 経営理念・方針の浸透 (Credo/way Management) - ヒトの本質に根ざしたマネジメントを実践する	<b>グループ研究</b> <b>【5-9】</b> 文献調査、メンバー・グループ指導講師との徹底した議論	各講義の気づきと学びを整理		
8月		<b>■全社的な変革の仕組みを構築する</b>  <b>第2回合宿 (2泊3日)</b>			<b>グループ研究【10-14】</b>	中間振り返り
9月						
10月	組織変革を実現する実践力を磨く	<b>■総括講義</b>	<b>グループ研究</b> <b>【20-23】</b>	<b>グループ研究【20-23】</b>		
11月		<b>【グループ研究成果発表】</b>	<b>【24-28】</b> 報告書とりまとめ、発表準備		研修成果の振り返り	
12月						<b>第3回合宿 (1泊2日)</b>
2020年1月						
2月						
秋頃	フォローアップ	<b>■研修後の取り組みに関する情報交換</b>				

\* 日程、内容が変更になる場合があります

# 2019年度 経営アカデミー 参加申込書

貴社名

派遣 責任 者	〒		氏名
	所在地		
	所属/役職		
	TEL	e-mail	

(※派遣責任者と同一の場合は記入の必要はございません)

研修 担当 者	〒		氏名
	所在地		
	所属/役職		
	TEL ( )	e-mail @	

**開講案内送付先**

(○で囲んで下さい)

参加者 ・ 研修担当者

※請求書及びご派遣窓口への必要書類などは研修ご担当者宛に送付申し上げます。

なお、請求書の宛先が上記貴社名と異なる場合は、下記に請求書宛名社名をご記入ください。

請求書宛先社名:

参加者 1	コース名	組織変革とリーダーシップ	コース	フリガナ
	所属/役職			氏名
	〒			
	所在地			
	TEL ( )	e-mail @		
参加者 2	コース名		コース	フリガナ
	所属/役職			氏名
	〒			
	所在地			
	TEL ( )	e-mail @		
参加者 3	コース名		コース	フリガナ
	所属/役職			氏名
	〒			
	所在地			
	TEL ( )	e-mail @		

**■ご質問** (該当する記号を○で囲んでください)

経営アカデミーご派遣の予算申請の時期はいつ頃でしょうか？ A.18年10月 B.18年11月 C.18年12月 D.19年1月 E.19年2月 F.19年3月 G.19年4月以降

※個人情報の取扱いについて

下記の【個人情報の取り扱いについて】をご確認、同意される場合に限り、本申込書に必要事項を記入の上、お申込みください。

- 個人情報は、『経営アカデミー』の参加者名簿等の資料等の作成、ならびに当本部が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内、および顧客分析・市場調査のために利用させていただきます。なお個人情報の提供は任意ですが、ご提出頂けない場合、当本部からのサービスを受けられない場合がございます。
- お預かりした個人情報は、案内状や参加証、テキストの送付などを目的の一部委託する場合がございます。
- 本部が保有する個人情報について、開示、訂正、削除、利用停止などの請求があった場合には、本人であることを確認の上で本部の定める書類にて対応いたします。
- 個人情報の取り扱いについての疑問・質問、開示等請求は以下までご連絡ください。  
公益財団法人日本生産性本部 経営アカデミー Tel:03-5221-8455
- 個人情報保護管理者 総務部長

※コース運営に支障が生じると判断される場合は、お申込みをお断りすることがございます。

FAX:03-5221-8479 E-mail:academy\_info@jpc-net.jp

Web からお申込みの場合はこちら → 経営アカデミーホームページ 【URL】<https://k-academy.jp/>

## 経営アカデミー コース一覧

経営アカデミーとは、1965年に産業界の発意と学界の協力により創設されたわが国で最初の本格的な経営大学院です。当アカデミーを修了された方々は14,000名を超え、産業界のリーダーとして活躍しています。

### ●マネジメント・リーダー養成

コース名	実施期間	主な対象者	コースの目的	参加費 ( )内8%税込	
				賛助会員	一般
トップマネジメント・コース	2019年7月～12月	取締役、執行役員、事業部長、部長	戦略思考に基づいたビジョンを語り、先頭に立って実践できるトップリーダーの養成	115万円 (124.2万円)	125万円 (135万円)
事業変革イノベーションコース	2019年6月～12月	事業責任者、企画・監査部門の責任者、戦略スタッフ	事業構造変革に必要な取り組みを統合的にコーディネートし、経営トップをサポートできるリーダーの養成	122万円 (131.76万円)	132万円 (142.56万円)
経営戦略コース	2019年5月～2020年3月	部長、課長(全職種)	自社ビジネスのあり方を見直し、次の戦略を深く多面的に考えるリーダーの養成	106万円 (114.48万円)	116万円 (125.28万円)
技術経営コース	2019年5月～2020年2月	技術戦略、技術企画、研究所、製品開発担当(部長・課長・リーダー)	“技術”から事業価値を創出できるリーダーの養成	106万円 (114.48万円)	116万円 (125.28万円)
組織変革とリーダーシップコース	2019年6月～2020年2月	部・課・チームの組織運営を行うリーダー	人・組織・戦略の視点で組織変革を推進できるリーダーの養成	94万円 (101.52万円)	104万円 (112.32万円)
				合宿費別	

### ●プロフェッショナル・リーダー養成

コース名	実施期間	主な対象者	コースの目的	参加費 ( )内8%税込	
				賛助会員	一般
マーケティング戦略コース	2019年5月～2020年3月	マーケティング、営業部門の部長、課長、リーダー、戦略スタッフ	先見性・革新性・戦略性で成熟市場を打ち破るマーケターの育成	94万円 (101.52万円)	104万円 (112.32万円)
生産革新マネジメントコース	2019年6月～2020年2月	生産関連部門(製造、生産管理、品質、調達など)のリーダー、マネジャー	現場と経営の視点で、「強い工場」をつくる人材の養成	94万円 (101.52万円)	104万円 (112.32万円)
人事革新コース	2019年5月～2020年2月	人事部・人材開発部門のマネジャー、リーダー、戦略スタッフ	人材マネジメントに革新を起こし、世界で競争力のある強い組織創りをリードする戦略的人事リーダーの養成	94万円 (101.52万円)	104万円 (112.32万円)
経営財務コース	2019年6月～12月	財務、経理、IR、企画部門のマネジャー・専門スタッフ	企業価値の向上をリードする、将来のCFOの養成	94万円 (101.52万円)	104万円 (112.32万円)
				合宿費別	

■国内合宿費 1回当たり 4～7万円 (経営財務コースは合宿費のほかにビジネスゲーム使用料 1万円程度)

■海外調査費 トップマネジメント・コース 39万円程度、人事革新コース、生産革新マネジメントコース 30万円程度

※参加費に含まれないもの:丸の内教室通学・合宿・企業見学・インタビュー等の交通費、グループ研究の図書・資料代、その他、個別的・追加的に発生する費用

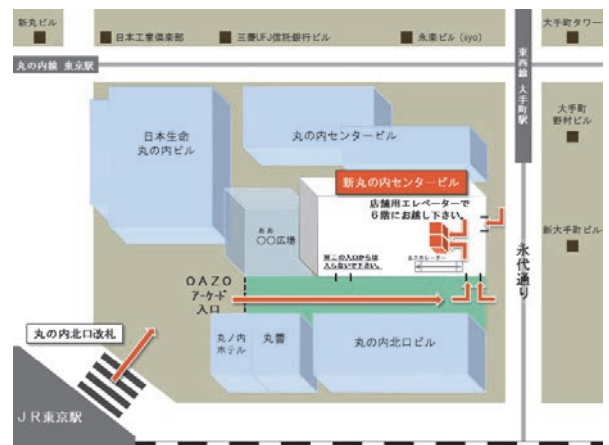
※参加費、その他費用は2019年度の予定金額

### お申込み・お問い合わせ先



公益財団法人日本生産性本部 経営アカデミー  
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-2  
新丸の内センタービル6階  
TEL : 03-5221-8455 FAX : 03-5221-8479  
mail:academy\_info@jpc-net.jp  
HP : https://k-academy.jp/

\* 賛助会員制度につきましては、下記まで  
お気軽にお問い合わせください。  
会員サービスセンター TEL : 03-3511-4026



東京駅丸の内北口より徒歩3分、地下鉄大手町駅B2b出口よりすぐ